

《目次》

- トピックス
 - ・南郷トマトの販売金額が過去最高を更新しました！
 - ・「ウッドデザイン賞2022」で優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました
 - ・下郷町で円蔵堰ウォーキングが開催されました
 - ・南会津林業祭が開催されました
 - ・南会津地方植樹祭が開催されました
 - ・新規就農者等を対象とした冬期研修会を開催しました
 - ・中山間地域総合整備事業の農道工事が竣工しました
 - ・田部地区の権利者会議を開催しました
 - ・福耕支援隊が南会津を視察しました
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテストを開催しています
 - ・農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」配信中
 - ・農業経営リスクに備えて収入保険に加入しましょう！
- コラム
 - ・「南会津ふるさとワークステイ」参加者インタビュー
 - ・キラリと光る南会津の6次化商品～そばだらけのパウンドケーキ～
 - ・アケビ料理に挑戦



今号の写真:南会津町の歳之神

令和4年12月14日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

南郷トマトの販売金額が過去最高を更新しました！

本年度は、シーズンを通して安定した出荷量と高い単価に支えられ、南郷トマトの販売金額が10億円を突破し、過去最高の販売金額を更新しました。販売金額が10億円を超えるのは平成30年以来4回目です。南郷トマトの生産が60周年の節目でもあり、特別な年となりました。

これを受けて、11月9日(水)に南郷トマト生産組合の小野組合長らが内堀知事を表敬訪問し、過去最高の販売金額になったこと、60周年を迎えたことを報告しました。

知事からは、「本年は、県内外の販売店での販促活動を積極的に実施しているが、県産農産物は「美味しい」から自信を持っておすすめできる。今後も、国内外で皆さんの取組を積極的に伝えていきたい。」とのコメントがありました。

当事務所は、南郷トマト生産組合史上初の2年連続10億円や11億円の達成に向けて、これからも全力で支援してまいります！
(農業振興普及部)



表敬訪問の様子

「ウッドデザイン賞2022」で優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました

「ウッドデザイン賞」は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。今回、南会津町の森と木の情報・活動ステーション「きとね」が応募総数330点の中からソーシャルデザイン部門の優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。

「きとね」は、木に関わる様々な活動や情報の拠点となる木造施設です。構造上の特徴である縦ログと重ね梁は南会津町産の森林認証材を使い、地元の林業関係者がネットワークを活かして木質部材を供給しました。いずれも一般に流通している規格材を組み合わせたローテク技術により、木の良さを活かしながら大空間を造りだしました。木の伐採から建設に至る映像を流したり、フローリング・家具には樹種名を入れるなど来訪者に対する木育機能を兼ねており、多くの方に木のある生活を創造させる仕掛けやその取組が高く評価されました。

また、「きとね」は令和4年度木材利用優良施設等コンクールでも審査委員特別賞を受賞し、今回はダブル受賞となりました。
(森林林業部)



下郷町で円蔵堰ウォーキングが開催されました

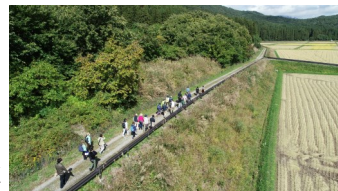
10月15日（土）に、下郷町の倉村・檜原地区でウォーキングイベントが開催されました。

このイベントは、農業農村を取り巻く現状や課題について地元住民への理解を深めることや、農村地域の活性化を目的に、水土里を育む普及促進事業の一環として、毎年管内いずれかの町で実施しています。

当日は、約50名が養鱒公園からバスに乗り、農業用水を取水するための円蔵堰を見学した後、堰の名前の由来にもなった弓田円蔵氏の石碑がある岩上神社から、へいほう石までの約4kmの道のりを歩きました。へいほう石は、怪力の持ち主と知られる「玄蕃（げんぱ）」がお手玉にして遊んだと伝えられる石で、重さは120kgあるとの噂も・・・。

このイベントを通して、農業用水を水田に引くまでの先人の苦労や、地域の歴史を学ぶことができました。

なお、当日の様子は、農林水産部YouTube「1400のネタばらし」にもアップされていますのでぜひ御覧ください。（農村整備部）



ウォーキングの様子

南会津林業祭が開催されました

10月23日（日）に、今年4月にオープンした“みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」”を会場に南会津林業祭が行われました。木のスプーンやフォークなどをつくる『木工クラフトエリア』、林業機械や広葉樹丸太などを展示する『森と木の展示エリア』、薪割りやチェーンソー体験、ニュースポーツのモルックやカップで遊ぶ『アクティビティエリア』、木工品やDIY向け端材マーケット、広葉樹原板販売などの『物販エリア』、その外『飲食ブース』が設けられ、南会津の森と木の魅力を大勢の人に発信し堪能してもらうことができました。

農林事務所からは、木製サイクリングスタンドの見本展示のほか、木製ストラックアウトやモルックでゲームを行い、友人同士や家族連れで楽しんで頂きました。いずれも大変好評で、南会津からモルック等の地域材を活用した取組の人气が広まることが期待されます。（森林林業部）



ニュースポーツ モルック



サイクリングスタンド「キヤット」



木製ストラックアウト

南会津地方植樹祭が開催されました

11月2日（水）に、会津山村道場周辺（南会津町糸沢）で第70回南会津地方植樹祭が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、南会津町長をはじめ来賓や田島第二小学校、伊南小学校の緑の少年団など、約50名が参加し、30本のオオヤマザクラを植樹しました。また、長年、福島県もりの案内人として御活躍されている平野健一さん（南会津町田島）が緑化功労者として表彰されたほか、南会津工房「き」で製作した木製玩具を販売している株式会社高島屋が、その売上げの一部を南会津地方緑化推進委員会に寄付していることに対し、感謝状が贈呈されました。（森林林業部）



植樹祭参加者

新規就農者等を対象とした冬期研修会を開催しました

当事務所では、新規就農者や就農予定者等を対象に、農業経営に関する基本的な知識の習得を目的に11月28日（月）から12月9日（金）まで、計3回冬期研修を実施しました。

青色申告や帳簿の記帳のしかた、土づくり、農業機械の安全な使い方など、農業を開始するにあたって重要な幅広い内容について講義を実施し、2名の先輩農家からはこれまでの営農経験や新規就農者に対するアドバイスをお話しいただきました。参加者の皆さんは真剣に受講され、研修終了後には活発な質問や意見があり、理解を更に深めていました。

今後も新規就農者向けの研修会を開催して、新規就農者の問題解決、農業に対する理解促進、仲間づくり等を支援し、就農後早期の経営安定と確実な定着を支援していきます。



研修会の様子

（農業振興普及部）

中山間地域総合整備事業の農道工事が竣工しました

当事務所では、農業・農村の活性化を図るため、下郷地区と南会津西部地区において、農業生産基盤と農村生活環境等の整備を併せて行う中山間地域総合整備事業を実施しています。このうち南会津西部地区の古町工区（旧伊南村）では、昨年度に着工した農道舗装工事が竣工しました。

農道の舗装は、農産物輸送時の荷傷みを防止する効果があるほか、近くには小学校があることから、子供たちの通学路としての利便性向上も期待されます。

南会津西部地区では令和5年度、下郷地区では令和6年度の事業完了を目指し、各地で工事を進めております。皆様のお近くで工事や測量が実施される際には、御理解、御協力のほどよろしくをお願いします。



竣工写真

（農村整備部）

田部地区の権利者会議を開催しました

11月15日（火）、田部生活改善センターにおいて、「農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業）田部地区権利者会議」を開催しました。

田部地区（南会津町田島）は、区画、農道が狭小であるとともに、用排水路が未整備で維持管理に多大な労力を要し、営農に支障をきたしていました。そのため、農業担い手への農地利用集積や農業の高付加価値化を目的として、平成28年度からはほ場整備事業に着手し、今年度まで30.9haの区画整理や舗装工事、用排水路工事を行ってきました。

今回の会議は、工事が完了し、農用地の区画形状を変更したことなどによる、土地の権利の再編（換地）について承認を得ることを目的として開催され、その結果は賛成多数により、承認されました。

このほ場整備事業を機に、今後、ますます当地域の農業経営の体質強化が進み、さらなる発展が期待されます。



会議の様子

（農村整備部）

福耕支援隊が南会津を視察しました

10月31日（月）、相双農林事務所農村整備部の地方自治法派遣職員5名が紅葉深まる南会津管内を訪れました。

ふっこう

今年度は4県から派遣応援があり、「福耕支援隊」として被災地の復興再生に向けて尽力をいただいておりますが、今回の訪問は被災地以外での事業取組を現地調査し、「ふくしまの今」について、各県への情報発信につなげていただくことを目的としたものです。

下郷町安張地内の営農飲雑用水施設整備工事（三ツ井工区）では、飲料等生活用水の確保に苦慮してきた当該地域の水源地整備が着々と進んでおり、湧水や法面崩落の懸念等、森林内ならではの事象に対する施工上の対応状況や今後の供用開始後の維持管理等について、活発な意見交換がなされました。

続く田部地区では、基盤整備を契機に導入が進んだ高収益作物（アスパラガスやトマト）の営農状況を見学しました。

概ね出荷が終了する時期でしたが、ビニールハウスの団地化の様子や、地元農家・関係機関との連携経緯について強い関心を示していました。

営農再開が進む浜通り沿岸の農地とは、地形や気象が大きく異なる南会津。参加された方は、農業農村整備事業を通じて、着実に復興が進んできている福島県の姿とともに、南会津の魅力を感じ取っていました。

（農村整備部）



田部地区ハウス団地視察の様子

農林事務所からのお知らせ

みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテストを開催しています

当事務所では11月29日（火）から令和5年1月31日（火）まで、みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテストを開催しています。募集テーマは「みなみあいづの森林・林業・木材産業の魅力を伝えよう」です。南会津地域（下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町）で撮影された森林の情景や林業の仕事、木材産業や特用林産物の生産工程等が伝わる写真を幅広く募集しています。

応募作品は南会津の魅力を地域の内外へPRするために活用させていただくとともに、入賞者には南会津産の農林水産物等の賞品が贈呈される予定です。

チラシを御確認いただき、積極的な御応募をお待ちしております。

詳細は森林林業部林業課までお問い合わせください。（森林林業部）

農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」配信中

今年度から始まった農林水産部公式YouTube「1400のネタばらし」。南会津にかかわる動画としては「下郷町 水をめぐるウォーキング」「就農2年目！！南郷トマト農家の方にインタビューしてみた！」が新たに投稿されていますのでぜひ御覧ください。

今後も積極的に南会津地域の話や農林産物の魅力を発信していきます。

（企画部）



二次元コード

農業経営リスクに備えて収入保険に加入しましょう！

収入保険は、ほとんどの農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。

青色申告を行っている農業者は、保険料や積立金等を支払うことで加入でき、保険期間の収入が基準収入（過去5年間の平均農業収入）の9割を下回った場合に、下回った額の9割を上限に補填します（※5年以上の青色申告実績がある場合）。

対象収入は農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体です。また、新型コロナウイルスの影響で販売収入が減少した場合も、補償の対象となっています。

また、福島県独自の保険料助成措置として、令和4年または令和5年から初めて収入保険に加入される方で、新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和3年の農業収入が、過去の農業収入と比較して10%以上減少した方に対し、加入申請時の保険料の1/3を助成します。

加入申込期限は12月末です。不明な点は、福島県農業共済組合（NOSAI福島）まで御相談ください。

（農業振興普及部）

○お問い合わせ・加入申込先

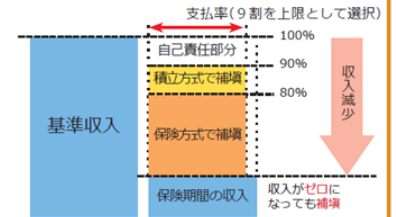
NOSAI福島 会津支所（0241-23-5144）

基本のタイプ

- 例えば、**基準収入1,000万円**の方の場合、保険料7.8万円、積立金22.5万円、付加保険料（事務費）2.2万円です、**最大810万円の補填**が受けられます。
- このタイプは、保険期間の**収入がゼロ**になったときは、**810万円**（積立金90万円、保険金720万円）の補填が受けられます。

基本のタイプの補填方式

（※5年以上の青色申告実績がある者の場合）



「基準収入」は、過去5年間の平均収入(5中5)を基本に規模拡大など、保険期間の営農計画も考慮して設定

コラム

「南会津ふるさとワークステイ」参加者インタビュー

当事務所では、福島県内外の就農希望者向けに農業体験や、オンラインでの懇談の場を提供する「南会津ふるさとワークステイ」事業を実施しています。

10月28日（金）から30日（日）にかけて、埼玉県在住の松島康敬さんが、南会津町で花き、アスパラガス栽培の農作業体験を行いました。

職員：今回御参加いただいた目的を教えてください。

松島さん：私自身、地方への移住と就農を検討していて、実際に地方で農作業が体験できないかと考えていたときに、就農相談会でふるさとワークステイのことを知ったので参加しました。

職員：体験した内容を教えてください。

松島さん：カラーの球根拾いと根切り、アスパラガスのハウス撤去作業を行いました。農作業体験以外に、JAや移住コーディネーターとの懇談、集出荷場など農業に関する施設の見学もしました。

職員：御参加いただいた感想を教えてください。

松島さん：農作業体験や農家の方々のお話を聞くことで、農業に対するやりがいや厳しさなど、農家として生活するより具体的なイメージができるようになりました。

「南会津ふるさとワークステイ」の内容に御興味があり、受入農家として御協力いただける方は随時募集しておりますので、お気軽に当事務所企画部までお問い合わせください。

（企画部）



球根拾いに取り組む松島さん

キラリと光る南会津の6次化商品～そばだらけのパウンドケーキ～

南会津町のたのせふるさとづくり会では、6次化商品の製造・販売の他、農村体験や教育旅行の受け入れなどに集落をあげて取り組んでいます。平成23年には豊かなむらづくり顕彰事業むらづくり部門において「農林水産大臣賞」を受賞するなど、精力的に活動しています。

今回は、同会の6次化新商品の中から「そばだらけのパウンドケーキ」をご紹介します。

南会津町たのせ産のそば粉を使用した生地には、そばの実をたっぷり練り込んで焼き上げています。一口食べれば南会津町の蔵元「開当男山」の日本酒がふわっと香り、そばの実のザクザク食感がいいアクセントになっています。

「そばだらけのパウンドケーキ」は道の駅番屋及び会津田島駅の売店「やまなみ」で販売していますので、見かけた際はぜひ味わってみてください！
(企画部)

○たのせふるさとづくり会HP <https://tanose.wixsite.com/tanose>



そばだらけのパウンドケーキ

アケビ料理に挑戦

みなさん、アケビにはどのようなイメージがありますか？

全体的に食べる部分が少なく、口にした後の種の始末が面倒だという印象がありませんか。

今回、下郷町の森林をフィールドとして活動している林業研究グループの里山自然塾が、山形県白鷹町を訪れ、アケビ栽培農家と実際にアケビ料理を提供しているイタリアンレストランの視察研修を行いました。また研修を糧として南会津で自生している野生のアケビと白鷹町のアケビの皮を使い、里山自然塾の会員がアケビ料理に挑戦しました。

アケビの皮を重曹で灰汁抜きし、皮に味噌を塗り紫蘇巻きにした天ぷらや肉詰め焼き、野菜詰めにした煮込み料理、炒めて酒粕ディップソースとエゴマ味噌を絡めた料理を作りました。完成した料理は華やかかつ美味で驚きの発見でした。

今回、里山自然塾が生み出したアケビの調理方法により、秋の味覚としてここ南会津でもアケビ料理が広まることを期待します。

(森林林業部)



アケビ料理



アケビの煮込み

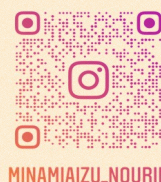
南会津農林事務所では公式Instagramのフォロワーを募集しています！

○最近の主な投稿

「南郷トマト生産組合 知事表敬訪問」「第70回南会津地方植樹祭」

この他にも農林産物の話題やイベント情報を発信しています。

右の二次元バーコードを読み取りぜひフォローしてください。



MINAMIAIZU_NOURIN

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>
電話 0241 - 62 - 5252 FAX 0241 - 62 - 5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。